

### 1. 実践研究テーマ

ICTの効果的な活用と話し合い活動の充実により、児童・生徒の学力向上を図る

### 2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

- 生徒がタイピング練習できる時間
  - ・月に一週間、朝学習の時間(10分間)に生徒がインターネット上の無料で行えるタイピング練習を活用し、速く、正確に行えるように取り組む。
- ICT活用方法についての校内研修
  - ・教員がタブレットを持ち寄り、自分の授業で活用しているソフトやアプリを紹介し合い、使用方法を伝えたり、質問したりする。
- 指導案・研究授業検討プロジェクトチーム結成
  - ・異なった教科担当者で編成し、さまざまな視点からICTの活用法、話し合い活動の方法を検討し、指導案作成・研究授業実施に向け準備する。
- 協力校と合同での研修・研究授業・研究協議
  - ・協力校である小学校2校と合同で行い、小・中学校でのICT使用や話し合い活動についての取り組み・課題などを共有し、小・中でのギャップを少なくし、児童・生徒がスムーズに授業を受けられるような方策を検討する。
- 1・2年生全員での生徒集会(生徒会役員がファシリテーター)
  - ・以前作成したポジティブ行動支援マトリクスを改訂するために、できていることとできていないことを学級で話し合い、それを基に全体で話し合い活動をする。今回は、「授業の取り組み方と清掃の取り組み方」について。



### 3. 取組の成果

#### ○ 教職員の変容

- ・ICTを活用する教員が増加し、生徒がタブレットを使用する頻度がどの教科でも増加した。
- ・さまざまな場面で話し合い活動を取り入れ、生徒主体の授業が増加した。
- ・教員が自分の授業改善に努めた。

#### ○ 児童生徒の変容

- ・タイピングが速くなった生徒が多く、スムーズに授業をすすめられるようになった。
- ・話し合い活動が増加し、少しずつ自分の意見を言えるようになってきた。
- ・タブレットとノートを使用選択させることで、個別最適な選択をできるようになった。

### 4. 2年次に向けての取組予定

- ・小・中の連携をより密にし、児童・生徒の9年間を見通して学習に取り組めるような研修。
- ・講師の方を方をお招きして、生徒を対象に話し合い活動のワークショップを開催。